

【海外情報】カナダBC州における原生林の伐採保留について

(要旨)

- ・ BC州政府は、本年11月に、州内の原生林260万haの伐採を2年間保留する方針を発表。
- ・ 本措置は、2020年9月にBC州政府が公表した「原生林戦略レビュー」の報告書における提案に基づくもの。
- ・ 伐採保留の方針に対して、先住民と業界は批判的。現時点では、日本への影響は限定的との見方。

1. 「原生林戦略レビュー」

(1) 経緯

- ・ 2019年7月に、BC州政府は、原生林管理の新たなアプローチの開発のために、一般市民も含めて、原生林の重要性と将来に対する見解を収集・整理する「原生林戦略レビュー (Strategic Review of Old Growth Forest Management)」を開始。
- ・ 2020年9月に、同レビューの報告書「A New Future for Old Forests (原生林の新しい未来)」を公表。同報告書は、以下に示す原生林保護のための14の提案を提示。

※BC州による「原生林 (old growth forest)」の定義

- ・ 海岸部で250年生以上、内陸部で140年生以上の森林
- ・ BC州の面積9,500万haの約60%を森林が占め、森林の23% (1,320万ha) が原生林。原生林の約80%は、成長量が比較的小さい樹種 (北部のブラックスプルース、亜高山帯の森林、沿岸部の米スギ・ヘムロック林など)

(2) 具体的な提案事項 (14項目)

- ①先住民族の全面的な関与
- ②森林生態系の健全性と生物多様性の保全を最優先事項とする法律の制定
- ③原生林を3つの区域 (保護域・転換域・管理域) にゾーニングする森林管理制度の採用
- ④包括的で安定したガバナンスモデルの採用
- ⑤州民に対する客観的な情報の提供
- ⑥新たな戦略が実施されるまでの間における原生林開発の保留。対象地域は、

以下の通り。

- ・ 残存する原生林が 10%以下の地域
- ・ 古代原生林（沿岸部・湿地で 500 年生以上）、大きな攪乱のある生態系内の 300 年生以上の森林
- ・ 生態系の回復に大きな貢献をしている可能性が高い地域
- ・ 樹高 20m 以上の林分

- ⑦既存の生物多様性保全目標・ガイドラインに原生林管理を追加
- ⑧監視・評価システムの確立
- ⑨州内の各地域に一貫して適用する原生林管理の標準的なシステムとガイドランスの設定
- ⑩原生林管理の目標更新、運用ガイダンスの設定
- ⑪原生林のマッピングと分類の改善
- ⑫皆伐に代わる収穫方法を開発するための造林革新プログラムの創出
- ⑬新たな森林管理システムへの移行計画の策定
- ⑭労働者とコミュニティへの適応支援

3. 原生林の伐採保留

- ・ BC 州政府は、上記の提言⑥に基づく一時的な措置として、2021 年 6 月に省令 (Ministerial Order) 232 号及び 233 号に基づき、伐採を延期する指定地域として原生林 260 万 ha を含む 11 か所を指定。同年 11 月にプレスリリース「原生林伐採保留に対する政府の行動」により、これらの指定地域の伐採を保留する方針を発表。
- ・ 保留期間は 2 年間。 州政府は、先住民に対して、伐採保留への支持・不支持を 30 日以内に示すよう要求。
- ・ 保留期間終了後は、伐採保留の原生林は、既に伐採禁止となっている 350 万 ha の森林に追加されるか、又は新たな森林管理計画の下で管理される予定。

4. 原生林の伐採保留に対する反応

(1) BC 州内の反応

- ・ Vancouver Sun 紙 (11/3 付け) は、以下の点を報道。
 - ・ 森林産業評議会 (COFI) は、「原生林の伐採保留は、数十もの製材工場の閉鎖、18,000 人の雇用喪失につながる」と警告。
 - ・ 先住民の森林評議会は、「原生林の伐採保留は、誤った方向に導く対応不可能なものであり、先住民に失敗をもたらす」と批判。
 - ・ これに対して、BC 州森林大臣は、「今回の決定による失業者の見通しは 4,500 人に過ぎない」と反論。

- ・環境保護グループは、「今回の決定を歓迎するが、政府の対策は十分ではない」と指摘。

(2) 日本国内の反応

- ・BC州で100年生を超す原生林材を生産できる森林は、そもそも少ない。原生林の樹種としては、Western Red Cedar(米杉)やSitka Spruce、Yellow Cedarなどが挙げられるが、いずれも需要量は限定的と思われる(日本木材輸入協会(11/10聴取))。
- ・輸入される米ツガ丸太は、絶対量は少ないものの、原生林材が比較的多いと見られる。260万haの伐採が停止された場合、他地域でどの程度賄えるかは未知数(日刊木材新聞(11/10付け))。

(以上)

【参考 1】BC 州における原生林の分布

「原生林戦略レビュー」によれば、BC 州内の原生林は、バンクーバー島を中心とする南西部の海岸沿いや北東部や中西部に多く分布している。

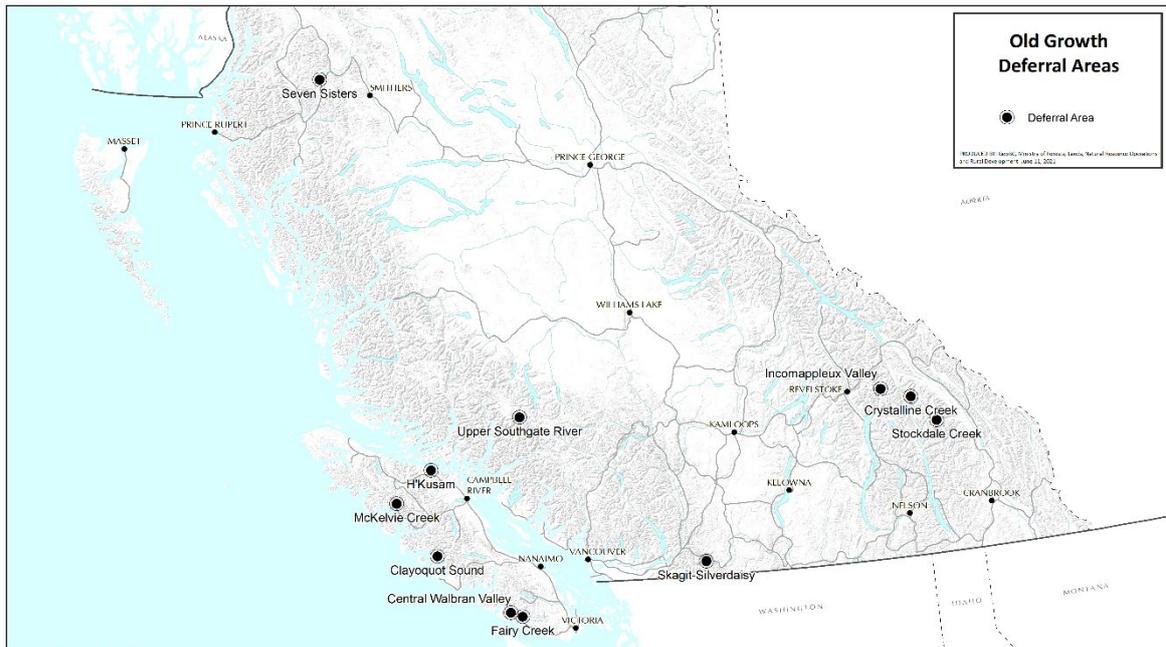
(※下図のうち、緑色は原生林、黄色はその他の森林、灰色は非森林。)



資料 : BC Ministry of Forests, Lands, Natural Resource Operations and Rural Development 「Strategic Review of Old Growth Forest Management」 25 頁

【参考2】原生林の伐採保留区域

プレスリリース「原生林伐採保留に対する政府の行動」による原生林の伐採保留区域は、11か所（計260万ha）で、バンクーバー島周辺で半数を占めている。南部のバンクーバー島が5箇所、海峡に位置する森林に1箇所、南部の米国との国境付近の山地に1箇所、南東部の内陸部の山地に3箇所、北部の沿岸部近くの山地に1箇所となっている。



※各伐採保留区域の特徴

- ・ Fairy Creek: 海岸部の原生林でマダラウミスズメが生息
- ・ Central Walbran Area: ウェスタンレッドセダーを含む海岸部の熱帯雨林
- ・ Clayoquot Sound: 海岸部のヘムロック林。ウェスタンレッドセダー、イエローセダー等を含む。
- ・ Crystalline Creek: 手つかずの流域にある湿地が混じっている原生林
- ・ H'Kusan: 手つかずのスギ林分。
- ・ Incomappleux Valley: 内陸部の手つかずの河畔林で、様々な種類の地衣類や樹木が育成。
- ・ McKelvie Creek: 谷沿いの手つかずの温帯雨林帯。
- ・ Seven Sisters: 沿岸、内陸、北部の特徴が混ざり合った森林生態系で多くの野生動物が生息。
- ・ Skagit-Silver Daisy: サブアルパインファーや、ヘムロック、ウェスタンレッド/イエローセダー、ベイマツが自生する海岸部と内陸部の中間のような原生林。
- ・ Stockdale Creek: 野生生物のコリドーとなっている手つかずの流域の原生林。
- ・ Upper Southgate River: 海岸部の熱帯雨林で様々な野生生物や鮭の生息地。

資料：BC州政府 HP (Old Growth Deferral Areas)